

道徳だより 第6学年

グッド * ハート

Good Heart

木津川市立棚倉小学校 平成29年6月23日

本校では、道徳教育を重点的に研究しています。このお便りでは、各学年で取り組んでいる取組や授業の様子をお知らせしていきます。学校での子どもたちの様子を知ってもらおうと共に、お家で話題のきっかけにでもなれたらと思います。

「ぼくの仕事は便所そうじ」

6年生では、「働くこと」について考える学習をしました。

東武動物園公園の名誉園長を務められた西山登志雄さんが、上野動物園で働き始めたころの話です。気の進まないままにやっていた「便所そうじ」でしたが、おばあさんの言葉を聞いたことがきっかけで、進んで人のために仕事をしようという意識が芽生え、より意欲をもって楽しく仕事をするようになっていきます。

西山さんの生き方を通して、学校や地域においても自分に与えられた仕事に誇りをもって働いたり、周りの人の気持ちを考えて働いたりすることへ意識を持つきっかけとしてほしい、そんな思いをもって、授業を行いました。



学校での役割には・・・？

- ・委員会活動
- ・係活動・登校班の班長
- ・給食当番
- ・ファミリー班
- ・そうじ・・・

どんな気持ちで取り組んでる？

- ・いや。
- ・めんどくさい。
- ・やりがいがない。
- ・大変



西山さんはなぜ園長になれたのでしょうか。

- ・おばあさんの言葉をきっかけに、変わったから。
- ・便所掃除を通して、働くことの喜びを知ったから。
- ・いろいろと工夫した。
- ・小さなことでもコツコツと続けてきたから。

西山さんの生き方で学校生活の中で生かせそうなことは？

- ・少しでもファミリー班を引っ張っていきたい。
- ・楽しくそうじができるように工夫をしていきたい。
- ・みんなのために頑張りたい。



〈児童の感想より〉

これからの掃除では、使う人が「気持ちがいい。」と思ってくれるようにしたいと考えました。

どんな小さなことでも、続けることが大切なんだとおもいました。

小さなことを積み重ねていくことが、いずれ自分の力になると思いました。

これからは、自分も人のために気持ちをこめてそうじをしたいと思いました。これからの生活に生かしていきたいと思いました。